

5 グー・チョキ・パー・アンケート

目的：相互理解・緊張を和らげる・モチベート
時間：1～2分
準備：特になし
人数：10～数百人
場所：教室・体育館・講堂（着席でも起立の状態でも可）

自分だけ手を上げるのはちょっと……

「このなかで、〇〇〇を知っている人はいますか？ いたら手を上げてください」と言われたとします。みなさんは、その言葉を聞いたとき、手を上げますか？ 手を上げる前に、何かしませんか？

そう、多くの人は「周りを見渡す」という行為をします。自分だけ手を上げることに抵抗をもつ人は多いのではないのでしょうか？ いやおうなくみんなの注目を集めてしまうでしょうし、場合によっては、指名されて何かを発言しないといけなくなりそうです。こういった緊張感も「アイス」と考えられます。

アイスブレイク的には、ちょっと一工夫して、手を上げやすくしたいものです。そんなときに簡単に取り入れられるのが、「グー・チョキ・パー・アンケート」です。

「グー・チョキ・パー・アンケート」の進め方

- ①「今から簡単なアンケートをさせていただきます。アンケートといっても、紙は使いません。使うのはみなさんの手です。この場にいるみなさんが、〇〇〇という言葉をごどれくらい知っているか、教えてもらおうと思います」
- ②「〇〇〇という言葉をごよく知っているよという人はパーを、言葉く

ういは聞いたことがあるけど、よく知っているというほどじゃないよという人はチョキを、ほとんど知らないとか、初めてその言葉を聞いたという人はグーを上げてもらいます」と言って、みんなを見渡す。

③「よろしいですか？　じゃあ、全員でいつせいに手を上げましょうね。よく知っている人はパー、言葉を聞いたことあるくらいの人はチョキ、初めて聞いた人はグーですよ、いいですか？　セーの！」と言って、手を上げるように促す。

④「おー、おー、なるほど。パーのよく知っている人が2割、チョキの言葉くらいはという人が3割、初めて聞いた・よく知らないという人が5割くらいですかね。はい、ありがとうございます。わかりました」と言って、手を下ろすように伝える。

「それでは今日は、半分くらいの人が初めて聞く言葉、〇〇〇について、学んでいきましょう」と言って、本題に入っていく。

答えやすいもので予行練習すると効果的

たったこれだけの簡単なアイスブレイクです。時間もほとんどかかりません。全員でやるので、抵抗感なく手が上がりますし、全体として、そのことがどれくらい認知されているかを瞬時に見渡すことができます。手を上げてもらったあとに、だいたいどれくらいの割合だったかを伝えてあげると、みんなにとっても状況が把握できてよいでしょう。

本題を聞く前に、答えやすいもので予行練習をやると、よりスムーズにいき、アイスブレイクとしての効果もアップします。

予備知識がない人は、不安になりがちです。「この言葉を知らないのは自分だけじゃないんだな」「初めての人でもわかるように進めてくれるんだな」という安心感を持ってもらえるように、配慮して進めます。